

## I 本年度の取り組みのねらい

# 中等教育研究協議会の取り組み

研究部 齊藤真子

平成12年2月22日(火)に、本校主催による中等教育研究協議会を、開催いたしました。協議会テーマは「**総合学習(総合人間科)の発展的展開**」です。本校では、文部省の研究開発学校(1995~1997)の指定を受けて新しく設置した「総合人間科(総合学習)を、委嘱期間終了(1998年3月)後もその実践を継続しています。そして、中高を一貫させた、総合学習(総合人間科)をさらに発展させるべく研究と実践を重ねてきました。総合学習(総合人間科)における実践を基にして「総合学習の教科への発展(表現活動と討論学習)」(中)と「教科がどのように変わるか(総合学習と教科との関連)」(高)をテーマに、公開授業を行いました。

基調講演は、前校長である教育学部教授の安彦忠彦先生に「**中高の新教育課程づくりのために一基礎・基本、選択、総合をキーワードにして一**」と題して、話していただきました。安彦先生は、学校5日制では教育課程をどう創るかの全体的視野をもって、どういうカリキュラムを創るかを考えてほしいと話し始められ最後は「各学校での教育課程づくりの経験と力量の向上を！」の言葉で講演を終えられました。選択履修の問題や「基礎・基本」のとらえ方や教育課程編成の基本的視点などのお話は明確で、実践上の示唆に富むものでした。

また二月の下旬は一年間のまとめの時期なので中学1年生から高校2年生までの公開授業では、総合学習の一年間の活動で学んだことを生徒たちがどのようにまとめ、教科の授業へ発展させるか、また還流させていくのかということのをねらいに公開授業を持ちました。

中学の「表現活動と討論学習」の総合人間科の授業では、一年間の総合人間科の授業のまとめとして生徒たちが地域の方をはじめ多くの方から学んだ成果を、自分なりの表現方法で友達に伝えるとともに、パネルディスカッションやディベートを通して、お互いに学び合っていく授業を学年ごとに取り組みました。意見を率直に述べ合い、生き生きとした学習活動が展開しました。

一方、高校の公開授業は、「総合人間科の成果を教科においてどう生かすかークロスカリキュラムの試み」がテーマで、教師主体の合科の授業に取り組みました。「生命・環境」が学年テーマの高校一年生は「保健・倫理」「生物・英語」「国語・数学」です。「国際理解・人権・平和」が学年テーマの高校二年生は「家庭・美術」

「古典・保健」「理科・数学」「日本史・英語」です。学年担任団による組合せで新しい合科の授業を行ないました。総合学習の学年テーマを通して学び合った成果を、どのように具体的な形で教科へ還流させるかの取り組みは、まだ高校段階では試みられていません。だから「総合学習」と「教科」との「新しい関連を探る授業」の提案となりました。

午後の中高別「シンポジウム」の**中学校シンポジウム**(於豊田講堂)のテーマは「**移行期の総合学習の課題**」でした。安城市立安城西中学校の柴田富子先生は「総合的学習初年度の取り組みから一学びの共同体一」のお話をされました。信州大学教育学部附属長野中学校の徳武隆夫先生は「統合カリキュラムと総合的な学習」のお話をされました。本校の丸山豊先生の「総合学習の発展と新たな課題」のお話の後、コーディネーターの教育学部教授の的場正美先生からテーマ、学校づくり、評価、などの諸問題がだされ、活発な質疑応答となりました。

**高等学校シンポジウム**(於本校第一体育館)のテーマは「**総合学習の在り方をめぐって**」でした。大東学園高校の池上東湖先生は「学校5日制と共に『総合』」のお話をされました。筑波大学附属坂戸高校の服部次郎先生は「総合的な学習としての『産業社会と人間』の実践」のお話をされました。本校の矢木修先生の「総合学習と進路指導の関係」のお話の後、コーディネーターの教育学部助教授の植田健男先生から「私たちの教育課程づくり・学校づくりへの展望」の提案がありました。先生は高等学校における「総合学習」の特質と可能性や学校の「教育活動の全体計画」としての教育課程づくりなどの提言をされました。フロアからは生徒・教員・進路の変化や保護者のまなざしや必修教科との関連についてなどの質問が出て、根本的な議論をすることができました。

さて、本校は平成12年4月より併設型中高一貫校として発足しました。また平成12年度から平成15年度の3年間、「**高大の連携を生かした青年期のキャリア形成**」のテーマで、文部省の研究開発学校の指定を受けました。今後も本校は、教育学部との協力関係のもとに、総合大学である名古屋大学のリソースを生かして「総合的学習」の発展を軸とした併設型中高一貫カリキュラムの開発の研究に取り組み、新しい「中等教育のあり方」についての研究と実践を積み重ねていきます。